

研究専攻（専門領域）		日本・アジア研究専攻		学籍番号	07CS010
氏名	鈴木 さやか	ローマ字	SUZUKI Sayaka	国籍 (留学生)	
修士学位論文名		メディア別オノマトペの研究 ーテレビ・ラジオに着目してー			
提出年月日		2009年1月7日		指導教員	小出 慶一
体裁 (論文)	41頁(1頁文字数 1600字)		言語	日本語	
別冊添付資料等					
キーワード	オノマトペ テレビ ラジオ 量的調査				
<p>異なるメディアにおいて、情報の受け手に伝えたい内容をより正しく、より詳しく伝達するために、どのように言葉が選ばれ使用されているのか。本稿では感覚をそのまま描写した、より視聴者にわかりやすく伝えようとするときに多く使用される言葉と考えられるオノマトペに注目して調査・研究していく。</p> <p>オノマトペの研究ではよくコミックや新聞、小説、雑誌等の紙媒体を対象としてデータ収集を行っているものを見る。しかし、私たちの生活にはラジオ、テレビ、映画、インターネットなど、他にも多くのメディアが存在し、一つも利用しない日など無いといってもいい。そんな中、より老若男女、多くの人が日常生活でより多く触れるものとしてテレビがあげられる。オノマトペの使用例をテレビ・ラジオ等からあげている研究やオノマトペ事典などはあるが、ある程度の期間を利用した量的・質的調査や異なるメディアでの比較は未だにされていない。</p> <p>テレビやラジオでは紙媒体と違って不特定多数の人間が自然に近い言葉で発話していることが多く、幅広い年代の視聴者を対象としている。つまり、テレビやラジオでは文学作品やコミックなどで使用され、研究されるような特異なものでは無く、私たちが日常生活でも使用しているような、わかりやすい、より伝わりやすい表現が使用されていると考えられる。そして紙媒体と違って視覚ではなく、聴覚にうったえることができるこのメディアでは紙媒体とは違った結果が見られると考えられる。</p> <p>今回の調査対象であるテレビは映像をそのままみせるだけではなく、文字や音などを加えたり、最近ではCGを使用して加工していたりと、表現の幅も広がってきている。新聞や雑誌などでも絵や図は使われているが、テレビはそれらとは違い、映像を使用し、細かい動きまでをそのまま見せることができる。そして聴覚にうったえることはできるが、視覚情報が全くないラジオと比較することでテレビ特有の使用のされ方が発見される可能性があるといえる。</p> <p>この量的調査によってメディア別のオノマトペの特徴的な使用のされ方を見ていく。</p> <p>結果として、テレビではわかりやすく伝えるために使用する以外に視覚情報を巧みに利用することで様々な手法を生み出し、より効果的に使用されていることがわかった。そしてくだけた会話内で使用されることが多いとされるオノマトペが会話内だけでなく様々な場面で使用されている。</p>					